

第 16 回 自動車安全シンポジウムの開催について（案）

▶ 自動車安全シンポジウム開催概要

自動車安全シンポジウムは、国土交通省における自動車安全政策を発表するとともに、国民の意見を聞く貴重な機会と考えられる。2013 年から一般の参加者を対象とした企画と、自動車産業の関係者を対象とした企画を 1 年ごとに切り替える形式で開催するようになった。

第 16 回は、東京モーターショー開催期間に合わせて一般の参加者を対象とした企画で開催する予定であり、企画の主旨と一般の方の関心の高さが調和する企画内容・開催方法とする。

○今年度のテーマ

交通安全のための予防安全技術
～これからの車両安全政策のなかで～

○開催主旨

- ・ 平成 27 年は第 9 次交通安全基本計画の目標年かつ交政審における死者数削減目標年（平成 32 年）の中間年にあたることを踏まえ、今後更に車両安全対策を講じるうえで予防安全技術（自動運転技術含む）がいかに重要であるかという位置づけでシンポジウムを開催とする。
- ・ 今回は自動車アセスメントの新しい流れである「予防安全性能アセスメント」について取り上げる。
- ・ 第 1 部【講演】では、近年の車両安全政策の動向を踏まえつつ、予防安全アセスメントの概要と、最新の安全技術の動向に関する講演を行う。
- ・ 第 2 部【パネルディスカッション】では、一般ユーザからのニーズを聴取し、予防安全の性能を比較する意義やメリットについて幅広い視点で議論を深め、ユーザがより安全な自動車を自ずと選択する気運を高めるための方向性を見出す。

○開催時期： 平成 27 年 11 月 4 日（水）
（東京モーターショー開催期間中）

○開催場所： 東京ビッグサイト

○参加者数： 200 名程度

➤ シンポジウムの構成案

【第1部】講演

①車両安全政策における予防安全技術について

- ・車両安全政策に関する動向とともにアセスメントの意義・概要等をご紹介頂く

②最新の予防安全技術について

- ・最新の自動車安全技術の動向と今後の開発の方向性をご紹介頂く

【第2部】パネルディスカッション

今後の車両安全対策の主流となる自動車アセスメントについて、ユーザーからの意見を聴取するとともに、格付けした情報の活用や今後の予防安全技術の方向性等について議論し、理解を深める場としたい。

➤ 参考：過去5年のタイトル

第11回(2010)「より安全なクルマ社会を目指して」

第12回(2011)「ヒトとクルマの共存をめざして～先進技術を活用した安全対策～」

第13回(2013)「悲惨な交通事故をいかに防ぐのか～車両安全技術の普及に向けて～」

第14回(2013)「いのちを守るクルマの今～知っておきたい安全技術とその使い方～」

第15回(2014)「国際社会における自動車安全戦略と国際基準調和」

以上